

平成22事業年度

決 算 報 告 書

自 平成22年4月 1日
至 平成23年3月31日

国立大学法人 室蘭工業大学

平成22年度 決算報告書

国立大学法人室蘭工業大学

(単位：百万円)

区分	予算額	決算額	差額 (決算－予算)	備考
収入				
運営費交付金	2,924	2,924	-	
施設整備費補助金	242	242	-	
補助金等収入	69	94	24	(注1)
国立大学財務・経営センター施設費交付金	25	22	△3	(注2)
自己収入	1,953	1,986	32	
授業料、入学料及び検定料収入	1,898	1,923	24	(注3)
財産処分収入	-	-	-	
雑収入	55	62	7	(注4)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	404	450	45	(注5)
引当金取崩	1	2	0	
長期借入金収入	-	-	-	
目的積立金取崩	-	48	48	(注6)
計	5,622	5,770	148	
支出				
業務費	4,872	4,763	△108	
教育研究経費	4,872	4,763	△108	(注7)
施設整備費	267	264	△3	
補助金等	69	94	24	(注8)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	404	340	△64	(注9)
貸付金	-	-	-	
長期借入金償還金	8	8	0	
計	5,622	5,471	△150	
収入－支出	-	299	299	

○予算と決算の差異について

- (注) 金額は、百万円未満を切り捨てているため、合計金額と一致しないことがあります。
- (注1) 補助金等収入については、予算段階では予定していなかった補助金の獲得に努めたため、予算額に比して決算額が 24百万円 多額となっています。
- (注2) 国立大学財務・経営センター施設費交付金については、予算段階で予定していた交付額より減額となったため、予算額に比して決算額が 3百万円 少額となっています。
- (注3) 授業料、入学料及び検定料収入については、在籍者及び入学志願者の増加により、予算額に比して決算額が 24百万円 多額となっています。
- (注4) 雑収入については、主に研究成果有体物の提供収入の増加により、予算額に比して決算額が 7百万円 多額となっています。
- (注5) 産学連携等研究収入及び寄附金収入等については、予算段階の見込より受入額が減少したが前年度よりの繰越額の使用額が増加したことにより、予算額に比して決算額が 45百万円 多額となっています。
- (注6) 目的積立金取崩については、予算段階では予定していなかった積立金を取り崩したことにより、予算額に比して決算額が 48百万円 多額となっています。
- (注7) 教育研究経費については、主として雇用計画の見直し及び給与改定により人件費が減少したことにより、予算額に比して決算額が 108百万円 少額となっています。
- (注8) (注1) に示した理由等により、予算額に比して決算額が 24百万円 多額となっています。
- (注9) 産学連携等研究経費及び寄附金事業費等については、予算段階の見込額より受入額が減少したことにより、予算額に比して決算額が 64百万円 少額となっています。